

令和5年度

一般社団法人 埼玉県校外教育協会委嘱 校外教育研究紀要

【研究主題】

毛呂山を巡る豊かな体験活動を通し、地域を知り、
地域を愛する生徒の育成



毛呂山町立毛呂山中学校

〒350-0465

埼玉県入間郡毛呂山町岩井西4丁目12番地1

TEL 049-294-0019

FAX 049-294-0421

E-mail moroyamaj-001@bz04.plala.or.jp

1 学校概要

本校は、埼玉県南西部に位置し、豊かな自然環境に恵まれている。とくに、校区内にある滝ノ入地区は、毛呂川と桂木川沿いに集落が点在し、畑や果樹園が広がる、のどかな里山の風景をなしている。この地区は、古くからゆずの栽培が有名で日本最古とも言われている。また、毛呂山町の鎌倉街道上道は、街道を中心とし県内で初めて国の史跡にも指定された。さらに、自然豊かな町は、天然記念物や中世の山城など、豊富な文化財に触れることができる。

こうした町のなかで、本校は、開校77年目を迎える地域に根づいた伝統のある学校である。「自ら学び、共感し、行動できる生徒」を学校教育目標として「夢をもち世界にはばたく毛呂山の子ども」を育む学校づくりを進めている。とくに、小中一貫教育とそれを支えるコミュニティスクールを推進している。

2 研究の概要

(1) 研究主題

「毛呂山を巡る豊かな体験活動を通し、地域を知り、地域を愛する生徒の育成」

(2) テーマ設定の理由

本校は、自然・歴史共に豊かな地域であるが、新型コロナウイルス感染拡大による活動の制限等の影響もあり、現在の生徒は、地域との関わりや触れ合う機会が減少した。これまでのように地域に出て、地域を知ることが少なくなり、地域の人々との交流をしたり、良好な関係を築いたりすることができなくなっている現状がある。そこで、地域にある文化財や歴史地域を知るための体験活動を通して、地域を知り、そこに生活している人々や育まれた歴史に触れ合うことで、自分たちが住んでいる地域を愛する生徒を育成していく。

(3) 研究のねらい

地域の歴史探訪や、校区巡りを通して、地域の方々と交流する機会を増やし、生徒の人間関係を構築する力の育成を図る。

(4) 研究計画

- | | |
|------|-------------|
| 4月 | 生徒の意識調査の実施・ |
| 5月 | 桂木観音巡り |
| 10月～ | 歴史探訪事前学習 |
| 12月 | 歴史探訪・校区巡り |
| 1月 | まとめ |



3 具体的な取組

今年度の取組について、主な活動内容について報告します。

(1) 桂木観音巡り（5月）

中学校に入学し、学校生活にもなれてきたこの時期に、校区内の代表的な歴史と伝統ある桂木観音※への校外学習を実施した。校区内にはあるものの、実際に歩いてそこまで歩いたことのない生徒も多く、町の豊かな自然に感動していた。さらに、今後の取組へのオリエンテーションも兼ね、生徒たちの郷土への関心を高めることができた。



※毛呂山町滝ノ入地区にある桂木山は、奈良時代の高僧・行基（668～749）が訪れた地と伝わっており、行基が当地を訪れた際、その風景が大和国（現在の奈良県）葛城山に似ていることから、「桂木」という名となり、行基により堂宇と仏像が作られ、評判となり、多くの信仰者から寄進があり、観音堂を含めた七堂伽藍が建立されたと伝わっている。海拔300メートルのこの地からは、関東平野が一望でき、東京スカイツリーも肉眼で確認できます。元旦には、都心の高層ビル群の向こうから昇る日の出を拝もうと、毎年多くの人が集まるスポットです。また、付近一帯は桂木ゆずの産地としても有名である。

(2) 校区史跡・文化財巡り事前授業

校区史跡・文化財巡りを実施するにあたり、毛呂山町歴史民俗資料館の学芸員から郷土の歴史を学ぶことで、郷土愛や故郷を大切にしたい気持ちを養い、学区内の歴史文化に触れ興味・関心を高めることを目的に講義を聞いた。専門的な話や具体的な文化財の話聞くことで、生徒たちは自らが生活している郷土に関心を持つことができた。さらに6時間をかけ、班ごとに見学に行くコースと史跡・文化財について詳しく調べることとした。

(3) 校区史跡・文化財巡り

この活動では、4～5名のグループで、校区内の史跡・文化財を巡り、そこで簡単なミッションに挑戦しスタンプラリー形式で進めた。班で計画を立てることで、意欲的に学習に取り組み、郷土の歴史への理解を深めることができた。

A 出雲伊波比神社	出雲伊波比神社が建つ山は【①】で、この公園之神には近代産業の発展に貢献した【②】の署名がある。
B 総経業師	総経業師を建てた宮司はたれでしょう。フルネームで書きましょう。
C 古宮神社	古宮神社は昭和何年何月何日に出雲伊波比神社合祀（ごうし）されたか？
D 斎藤氏墓所	跡地は現在、何になっているか。英語で答えよう。
E 毛呂城跡	毛呂城があるかのように、「毛呂城跡」っぽい写真を撮ってきて！
F 妙宏寺	毛呂氏供養塔の中で、一番大きい塔の絵をスケッチしよう！
G 高福寺	参拝している写真を撮ってきて！
H 大師堂	江戸時代に建立された際の、このお寺の名前は何か？（門扁）看板に訂正箇所が記載されている。何行目に訂正があるか見つけてねえ。（24行目）
I 観堂	桜の木が大きさがわかるように写真を撮ってきて！この地は何があった場所とされているでしょうか。（毛呂季光の墓所）
J 流鏝馬本陣	流鏝馬当日まで何日間この場所を観点とするでしょうか。（3日間）また、11月3日には本陣からまずどこに向かうか実際に歩いてみよう。※正解の場所はずでそこ！（観堂）
K 柳田貞助生誕地	柳田貞助を、正しい漢字で書こう。
L 長栄寺	毛呂氏墓をスケッチしてみよう。門に大きく金色の字で書いてある漢字3文字を見つけよう。
M みたらせ池	みたらせ池を、正しい漢字で書こう。また、正しい読み方も答えよう。



各史跡・文化財13カ所に毛呂山町社会福祉協議会のボランティアさんが付いて、生徒が訪れるたびに細かく説明してくださいました。地域の方々の説明は、非常に分かりやすく生まれ故郷である毛呂山町の理解が深まったとともに、郷土に対する愛情や思い入れが強くなったようである。生徒たちの感想でも、「楽しかった」

「今まで知らなかったことをたくさん知れた」「意外と知らないことが多かった」という前向きな声がたくさん見受けられた。

(4) 学習のまとめ

学習のまとめとして、これまで調べてきたこと、各グループで撮ってきた写真、地域の方々からの話、実際に現地を見て学んだこと等を各自新聞にまとめた。新聞にまとめることで、より地域を知り、地域を愛する気持ちを醸成することができた。

4 研究の成果(○)と課題(◆)

○1年間を通して、地域に出て、自分たちが生活している地域にある史跡・文化財を調べ、実際に見て、ボランティアの地域の方々の説明を聞くことで、より地域を身近に感じる事ができた。

○ミッションを作り、スタンプラリー形式にすることで、「楽しく」「意欲的に」学ぶことができた。また、事前学習で学んだ内容を実際に見て、効率的に学習することができた。

◆史跡・文化財を説明して下さるボランティアの地域の方々との調整を事前に行えるよう、各関係諸機関との連携を適切に行うことが必要である。